

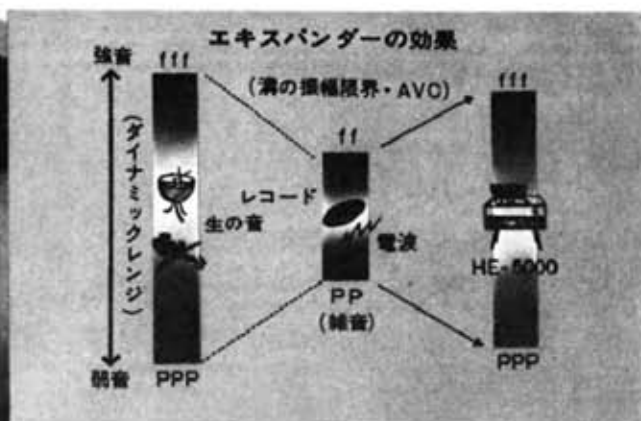


スーパーフォニックステレオ “HE-5000”の魅力点を探る



昨年七月、^{*}驚異のステレオ、として爆発的人気を獲得したHE-49の発売以来、当社技術陣はステレオの向上に日夜研究を重ねここに世界で初めてのエキスパンダー方式を採用した完べきのステレオを完成、全国ステレオファンの夢を実現しました。

そこで今月は、エキスパンダー方式採用のデラックス版^{*}HE-5000、を取り上げ、その特徴と魅力点を解説して見ました。



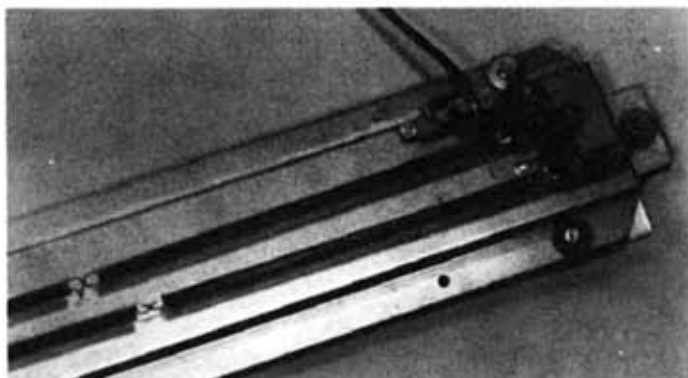
エキスパンダー方式

当社が世界にさきがけて商品化に成功した画期的方式で、今までラジオ放送やレコード録音で実際よりせばめられていたダイナミックレンジ（弱い音から強い音までの強さのへだたり）を2倍以上に広げることにより、原音そのままの生き生きとした音が楽しめます。操作は指先だけのワンタッチです。



リバーブ〈残響〉装置

音楽会のすばらしい雰囲気は、あの独特の残響音にあるのです。その〈残響〉を電氣的に作り、音に^{*}奥行きと^{*}深まりをプラスして、大ホールで聞くのと同じような音をお部屋で再現する装置が、リバーブサウンド・システムです。残響は0秒（残響なし）から2.5秒（最大残響時間）まで自由に調節することができます。



スプレッド装置

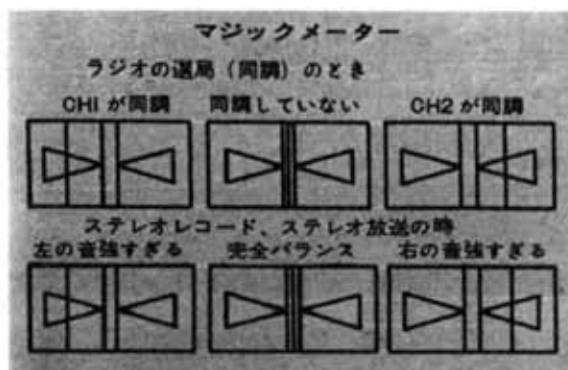
お部屋の大きさや、お聞きになる位置、お聞きになる演奏や音楽に合わせて、左右の音源を広げたり、せばめたりできる装置です。ツマミを最大にしますと、音の広がりが最も大きく、左右の分離が効果的です。また、最少にしますとモノラルとして聞こえます。



4

FM付き オールバンドステレオ

中波・短波はもちろん、音の良さが魅力のFM放送も聞ける3バンド（FM付き）-1バンドの2チューナ方式を採用しています。また、近い将来、実現が予想されるFMの立体（多重）放送もアダプターをつなぐだけで聞くことができます。しかも、FMアンテナを内蔵していますから、特に電波の弱いところ以外、外部アンテナは必要です。



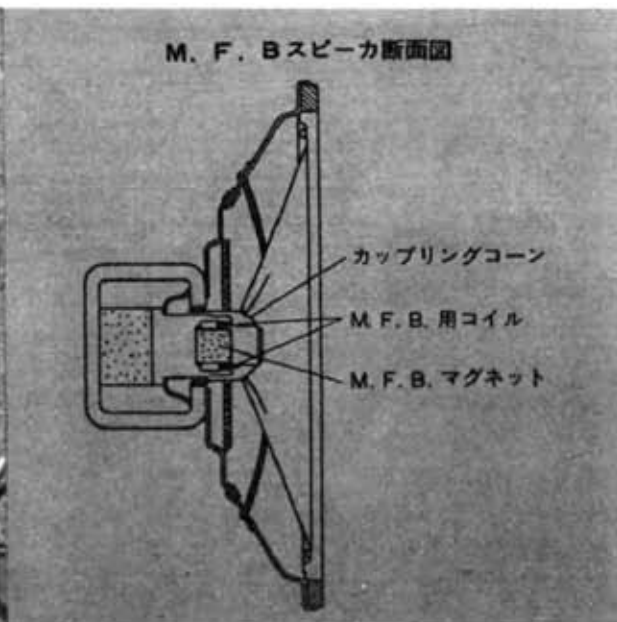
5

2ウェイ M.F.Bスピーカー

本機は、従来のステレオ装置やHi-Fiアンプに広く使われているヒズミを少なくする回路、いわゆるN.F.B（ネガティブ・フィード・バック）回路に更

にM.F.B（モーショナル・フィード・バック—コーン紙の振動から、自動的に音質を補正する回路）を採用し、更に新しく開発した微分回路を付加したため、スピーカのfo（最低共振周波数）を一層低くすることができ、大スピーカを使ったのと同じ豊かな低音が得られます。

しかも、周波数全域にわたって特性がすばらしく、歯切れの良い音が聞けます。（詳しくは本文15ページ参照）

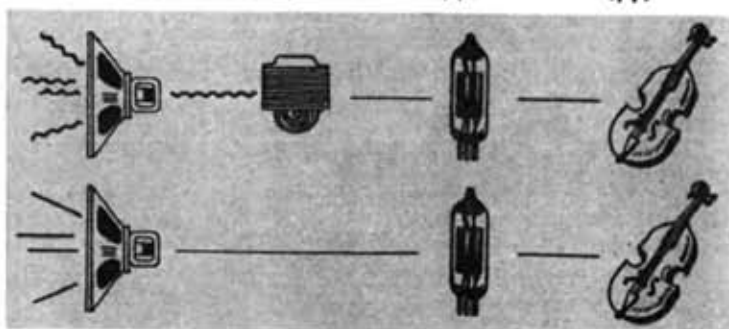


6

O.T.L方式

ハイファイ設計として一番進んだ方式——出力トランスを必要としない、O.T.L（アウトプット・トランスレス）方式を採用しています。従って、今までのようにアウトプット・トランスの特性に左右され、音がひずむと言う心配がなくなり、低音もグンと美しくなりました。

しかも、O.T.L専用の真空管として新開発の15MP19を左右に2本ずつ、計4本も使ったぜいたくな設計です。



7

耐熱・耐湿の 完全バランス設計

ナショナルステレオ装置にのみ採用されているこのセラミックピックアップ（ジルコン酸鉛）は、わが国特有の熱や湿気に驚くほどの強さを発揮し、いつまでも音や出力が変ることなく、衝撃にも強く、永久に高性能を持続します。



また、ピックアップアームの重心が回転中心と一致した時に完全バランスがとれる理論を用いた、ジャイロ・バランス方式ですから、プレーヤーを前後左右どの方向に傾けても完全演奏します。なお、お好みにより、オートチェンジャーが組み込めます。

8

しゃれた レコードケース

豊富にレコードが収納できる豪華なレコードケース付きですから、レコードキャビネットが不要です。しかも、ケースのドアには、マグネットが付いていますから、軽くピッタリと締まります。A写真。また、ケース上面は、花ビンや置き物が置ける飾り台となっておりお部屋のムードを一層引き立てます。B写真。

